

# 現代英米文化学会 会報

#002

Published 15 February 1990

題字は勝浦先生

## ★学会よりのお知らせ★

### <<現代英米文化第20号原稿〆切る>>

学会誌『現代英米文化』20号の原稿応募は昨年11月末で締切りました。今回は十余名の応募をいただきました。現在印刷所に渡った状態です。できる限り3月中に刊行するべく努力します。

### <<3月の例会と総会>>

現代英米文化学会第72回例会のお知らせ

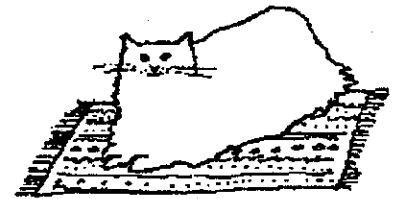
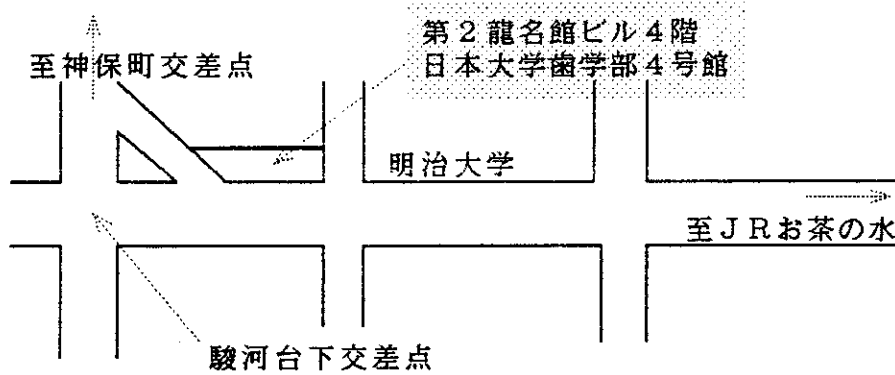
今回は会場が変りました。昭和女子大学ではありません。ご注意ください。

期日：平成2年3月17日(土)

会場：日本大学歯学部4号館(昨年の大会を行なった建物は3号館で場所が異なります。貸しビルの第2龍名館の4階です。地図を参照してください。)

演題：『現代英米文化』第20号各論文の著者による研究要旨の発表。

時間：午後3時より



懇親会：同日午後6時より。同ビル1階の「藍」にて  
会費 5千円位 シックな喫茶店を貸し切りにしました。乞うご期待。

3月の例会は、発表終了後に総会を行ないます。重要案件がございますので、万障お繰り合わせのうえご参加ください。

### <アトラクション>

電算機への文字の入力を行う為の道具で欠くことができないのがキーボードです。近頃は、わざわざタイプしなくとも、書物をそのまま電算機に入力できるようになりました。現在のところ数社が広告を始めています。今回、初めての試みとしてその内の一社に例会の開催時にデモンストレーションをお願いしてあります。例会は4階ですがデモンストレーションは、5階の佐藤研究室にて当日の2時から行われます。文学作品や論文、雑誌などの活字から直接電算機に入力ができますので、かなり楽になります。今回は漢字の読み取りはできません。英語(などの印欧語のみ)に限ります。デモンストレーションしてくれるのは、広尾にあるシステムクオリティ社です。筆者は実際にでかけて行って試して来ました。シェイクスピアの「リア王」の四ツ折本を意地悪く持ってゆきましたら、三分の一しか認識できませんでした。しかし、木の活字で行が直線でないものが読めないのは当然のことです。活字そのものに対する認識力は高度なものがあります。「ニューヨーカー」は一般書独特の活字のため、活字の形を教えてやると95%位の高率で入力できました。

<<会員の動き>>

-- 出版 --

横山 芳夫 先生 「英文法の実践問題」 成美堂 89年3月  
勝浦 吉雄 先生 翻訳「マーク・トウェイン自伝」が筑摩文庫に上下二巻本で収録されました。

-- 住所の変更等 --

-- 賛助会員 --

金星堂の担当者が長い間お付き合いいただいた中田信義氏から小笠原正明氏にかわりました。

-- 新入会員 --

-- 会員のプロフィール --

石井有美先生の『私のイギリス留学記』が写真付きで「現代英語教育」11月号に掲載されました。

<<学会費の振り込み先>>

平成元年度の会費が未納の会員は、郵便局で「払込金受入票」（青色）を使って

口座番号 東5 40225

振込み先 現代英米文化学会

に3000円を振込んでください。手数料は自己負担となります。御自分の会費納入状況が不明の方は、会計の高取先生まで御問い合わせください。一定年数会費の納入が無い場合は自動的に退会扱いとなります。



火縄銃を構える兵士

### 英国留学こぼれ話

#### — 両替の盲点

五味田 幸夫

わずか一年間の英国留学（オックスフォード大学、リンカン・コレッジ）でしたが、そのあいだ、いろいろな体験をしました。研究テーマは「オスカー・ワイルドを中心とした十九世紀英文学」ということでした。当初、生活情報があまりなかったことと、いわゆる単身赴任ということで苦労しました。正直なところ、生活不安から、柄にもなく日記をつけていました。これが一年経つとノート15冊にもなりました。その日記を繙きながら、心に強く残った話をしたいと思います。

ここでは、英国留学こぼれ話として、文学よりも英国文化事情に触れたいと考えています。旅行者ではなく生活者の眼で見たことを色々な角度から述べたいと思います。今振り返ってみますと、せいぜい恥をかいた体験談といったところかと思えます。まずは、両替のことあたりから始めたいと思います。

海外での両替（Exchange, Wechsel, Wissel, Cambio）の経験をした方は多いかと思えます。今やカード万能の時代ですから、古いなど思われるむきもあるかもしれませんが。確かに英国ではカードと小切手（Cheque）の社会です。普段英国人は現金をあまりもたないようです。しかし、現金を両替する機会は多々あります。手持ちのお金が日本円だけでなく、マルク、フラン、リラ等の場合もあります。特に学生達がよく利用するトラベラル・チェックに至っては言うまでもありません。そこで英国で体験した具体例を示しながら、両替のことについて述べてみたいと思います。

ロンドン市内の Earls Court 付近の Bureau de change に次のような掲示がしてありました。実際に二ヶ所で両替をしたのですが、これをかりにA、Bとします。

	Currency	We sell	We buy
A	JAPAN	223	237
B	JAPAN	226	236

この Bureau de change は、人の多く集まる観光地には沢山ありますし、日曜日や平日銀行が閉まっているときも営業しています。ある意味で便利ですが、実態はどうでしょうか。実際に受けたレシートは次のようなものです。

Date (日付)	Currency (通貨)	Amount (総額)	Rate (歩合)	Comm. (手数料)	Amount Paid (支払総額)
28/8	JAPAN	20,000	237	9%	76.79
27/8	YEN	20,000	236	9.8%	76.44

この場合、円をポンドに変えるわけですから、相手側（Bureau de change）にすれば、円を買うことになります。従って、We buy の歩合を見ることとなります。結果は、歩合236のBよりも、237のAの方がよかったこととなります。

このことは、旅行者のよく利用する空港（ここではロンドン・ヒースロー空港）の両替所と比較しますと、実態がよく見えてきます。空港では次のようなレシートでした。

Date	Currency	Amount	Rate	Comm.	Cash Paid
27/8	JAPAN	20,000	244.3	1.50	80.63

Earls Court の Bureau de change と比較すると、歩合は244.3と悪いようですが、手数料は少ないので、2万円円で約4ポンドの差がでてきます。

次に、これもよく旅行者が利用する Thomas Cook と英国の大手銀行三社の例でみてみます。話をわかりやすくするために、歩合のよい順に並べます。今後は1万円円で両替してみました。Midland Bank をM、それぞれ Thomas Cook T、Lloyds Bank M、National Westminster Bank Nとします。

	Date	Currency	Amount	Rate	STGEQ	Comm.
M	16.09.88	JPY	10,000	236.0	42.37	-2.00
T	16/SEP/88	J-YEN	10,000	237.0	42.19	-2.50
L	16-SEP-88	JAPAN	10,000	239.0	41.75	-1.50
N	16.09.88	YEN	10,000	240.0	41.67	-1.25

(STG は Sterling の略で英貨、EQ は Equivalent の略で相当額 (等価額) の意)

支払総額 (Amount Paid, 各社により Total, Cash, Payment と表現が異なる) は、次のようになります。順に、M £40.37、T £39.69、L £40.25、N £40.42です。従って、一番有利なのは、歩合が一番悪いですが、手数料が一番少ない National Westminster Bank ということになります。この比較では、Thomas Cook が一番悪いようです。

ここで考えなくてはならないことは、歩合も大切ですが、手数料が問題になるということです。A、B、のようなどころは、便利ではありますが、あわてて大金を両替するとかなり損をする事になります。好奇心の強い方のために、もう一度、今度は英国大手銀行 Barclays Bank (略B) にも登場してもらい、四銀行で確認します。

	Date	Currency	Amount	Rate	STGEQ	Comm.	Amount Paid
M	23.09.88	JPY	10,000	236	42.37	-2.00	40.37
L	23-SEP-88	JAPAN	10,000	239	41.84	-1.50	40.34
N	23.09.88	YEN	10,000	239	41.84	-1.25	40.59
B	23.09.88	JPY	10,000	237	42.19	-2.00	40.19

結果はどうでしょうか。一番有利なのは、National Westminster Bank です。歩合は Lloyds Bank と同じでよくない方ですが、手数料が一番少ないからです。

たまたま英国の銀行に普通口座 (Personal Current Accounts) をもうけたいと考えていましたので、躊躇することなく、National Westminster Bank に決めました。この場合、手持ちのトラベラル・チェックの手数料はとられません。ただし、口座開設には保証人 (reference) が必要です。ちょうど郵便局のスト (13日間) があり、口座開設に一月もかかるという大変苦い体験もしました。

春期休暇中に、オスカー・ワイルド所縁の地を求めて、2週間アイルランドへ旅に出かけました。ご承知のように、アイルランド貨幣はイングランドとはかなり異なります。アイルランド・ポンドに両替したときのレシートは次のようなものです。Allied Irish Bank をA、それぞれ、National Irish Bank N、Bank of Ireland B、Ulster Bank Uとします。

	Buy Note	Rate	IR£	Comm.	Pay IR£
A	20.00	0.855	23.39	0.25	23.14
N	20.00	0.86	23.26	0.50	22.76
B	20.00	0.855	23.39	0.50	22.89
U	20.00	0.852	23.48	0.00	23.48

不思議なことに Ulster Bank は、手数料をとっていませんので、利用者には最も有利でした。実は Ulster Bank は National Westminster Group でキャッシュカードも使えます。ただどうも Ulster Bank の手数料なしというのは、行員のミスではなかったかと思われれます。というのは、Wexford (ダブリンから南へバスで三時間位行った港町) の Ulster Bank では、手数料 (20£ (Eng£)) の両替に (IR£) はとられましたので。

このように、両替について見てきました。ご承知のように、今ではどこの両替所でも、歩合に関しては、各国の国旗をつけて掲示してありますので、大変よくわかります。ところが、手数料になりますと、こちらから質問しないとわからないのが普通のようなようです。大手銀行や空港の両替所は、それほど差がないようです。ただし、歩合がよい、それも限度を越えてよいところになりますと、手数料も多くとられるということになります。歩合だけで考えるところが盲点になります。相手は Business をしていることを忘れてはいけません。

豊かな国の旅行者どもなれば、とにかく両替できればよい、とかあるいは大きな気持ちになり気前よく両替しているのではないかと、とそんな気がします。両替については、なまじ知っているよりも、まったく知らない方が幸せかもしれません。しかし、この盲点とも言える手数料にもう少し関心を向けないと、足元をすくわれることになりかねません。

このような話をしますと、賢明な読者の中には、暇な奴 (愚者) もいるものだと、一笑に付される方もいるのではないかと思います。その点のご指摘通りです。ここでのデータはすべて実験したものですから、授業料を払いすぎたきらいはあります。根なし草が根をおろすと、かくも現実的になるかという、aesthete ではなく ass-thete の自我の話でもあります。

最後に、オックスフォード大学のある先生が最後の授業の講義でこんなことを言っていました。「人にもものを尋ねるな、自分で徹底的に調べろ。例えば、どのバスに乗るかかわからなくても人に尋ねるな、自分で調べろ。たとえ間違ったバスに乗っても途中で気がつけばそれでよし、気がつかなくてもそれでよし」と。この教訓に従って、両替の体験談を述べさせてもらいました。

佐藤治夫

今回は海外のデータベースへの接続方法をお話ししましょう。世界最大の DIALOG に接続（アクセス）することにします。DIALOG は全ての学術分野の書誌情報（世界中の出版物の大半）と、それに加えて、ニュース、書評までカバーした世界最大のデータベースとして有名です。英語英文学関係のデータベースも多く含まれており、最低でも月に一度はアップデートされます。なかでも圧巻なのは特に洋書屋においてある BOOKS IN PRINT が収録されていることで、週に一度のアップデートにより（ペーパーフォームでは年に一度）最新の出版状況がチェックできます。筆者も何度か、友人が絶版ではないかとあきらめていた書物が 'ACTIVE' の記号がついているのを確かめて注文した（米国に接続したまま書物を発注できます）ことがあります。

以下に英語英文学ならびに教育学関連のデータベースを例としてあげておきます。

- #1 ERIC 教育学
- #11 PSYCINFO 心理学
- #35 DISSERTATION ABSTRACTS ONLINE 博士論文
- #36 LANGUAGE ABSTRACTS 言語学全般
- #47 MAGAZINE INDEX 1959年からの435雑誌
- #61 LISA 図書館学、情報学
- #71 MLA BIBLIOGRAPHY MLAの書誌
- #88 ACADEMIC INDEX 人文科学、社会科学書誌
- #97 RILM 音楽関連文献
- #121 BRITISH EDUCATION INDEX
- #137 BOOK REVIEW INDEX
- #180 ACADEMIC AMERICAN ENCYC
- #182 EVERYMAN'S ENCYCLOPAEDIA
- #214 PETERSON'S COLLEGE DATABASE
- #287-8 BIOGRAPHY MASTER INDEX
- #297 THE HOLY BIBLE (欽定訳聖書)
- #430 BRITISH BOOKS IN PRINT
- #470 BOOKS IN PRINT
- #603 NEWSPAPER ABSTRACTS 英語圏有力新聞の1984年から現在に至る膨大な記事のデータ集成



番号が飛んでいるのは他の分野も含んでいるからです。全体で1000近い数のデータベースの集合体です。上記のデータベースの一番小さなものでも数十万件、大きなものになると数百万件の書誌データと、場合によっては、論文の抄録がついています。論文を読んだかのように偽ることまでできそうですね。

接続は、日本での代理店である、丸善、紀伊国屋と契約して暗証番号を取得して使用するか、データ通信事始め(1)で出てきた Nifty-Serve に接続して、その中のサービスの一環として米国に接続する方法があります。委託検索をしてもらう場合もあるでしょうから暗証番号を取得（無料）しておくのが良いでしょう。また、ネットワーク情報サービス社などのデータ通信業者と契約して国際データ通信回線を利用する方が費用が安い場合もあります。

海外と電話回線で接続するのは、音声で海外の相手と話すのと異なり、米国と接続しても「1分当り70円くらい」です。その他に1時間あたり数十ドルのファイル利用料がかかります。音声でいわゆる電話をすると、1回線を独占してしまう為に料金が非常に高くなりますが、データ通信回線は1回線を使って、同時に多数の電算機のポケット通信を行ないます。それで費用が安いわけです。この料金だと、東京から名古屋以西の相手に電話をかけて用件を伝えたり、FAXを送るよりも海外の電算機に接続してメールを交換する方が、料金も安くなるわけです。国際通信回線の利用に当たっては、東京、大阪など国内数ヶ所の接続電話番号に電話してつなぐ必要がありますが、「国内分の電話料金は無料」となりますので日本全国どこから海外に接続しても接続料金は変わりません。

すでに各大学の図書館では何年も前から利用可能になっており、委託検索をしてくれます。一度本務校の図書館に問合せてみてはいかがでしょうか。

<<第8回大会のお知らせ>>

名和 雄次郎  
 長前) 局長 事務 札幌  
 (土) JR 線  
 (日) 内日  
 チ 8  
 ッ  
 リ  
 ル  
 テ  
 ホ  
 市  
 幌  
 札  
 道  
 北  
 海  
 平  
 大  
 会  
 場  
 期  
 間  
 北  
 平  
 道  
 2  
 札  
 年  
 幌  
 9  
 市  
 月  
 7  
 日  
 テ  
 (金  
 リ  
 (土  
 JR  
 線  
 札幌  
 事務  
 局長  
 前)

グまま か扱に記  
 口末生 出体便御  
 プ月先 で団のく  
 の4取 まは機か  
 会ら高。道機行細  
 大かのず海行飛、  
 。時計ら北飛たて  
 す会か。れの  
 ま例、しすうさす  
 れのて悪まよ定ま  
 さ月しでりし指ね  
 催3一のあでが兼  
 開をびんと員も  
 て込せしこ全下  
 に申をま保る、一  
 市約書れ確あでケ  
 幌予込らをものン  
 札の申け泊望すア  
 道関の受宿希での  
 海機下はの御定そ  
 北通以込日の予は  
 は交。申両どう書  
 会とすの8なら込  
 大泊ま頭、いも申  
 回宿け口7たて。  
 8、付。のしいす  
 第がけい月泊引ま  
 会す受さ9数割り  
 学でをだはうてな  
 化定込く約もつと  
 文未申て予らら提。発  
 米、次しのかも前い頭で  
 英は1をルだてるさ口ま  
 代等第込テのしすだお生  
 現ム、申ホるに乘くな先  
 ラで、けい搭入 夫

治藤 佐長 委員 編集 誌 学会  
 治藤 佐長 委員 編集 誌 学会

第8回大会参加申込書 (コピーを取って御記入ください)

参加費用概算 5万5千円 (上記のホテルでの2泊と朝食2回並びに往復の航空機運賃を含む)

御名前 \_\_\_\_\_  
 宿泊希望 (丸で囲む)  
 9月7日 8日 9日 その他 ( 日から 日まで )  
 交通機関 (丸で囲む)  
 往復飛行機 不要

第8回大会口頭発表申込書 (コピーを取って御記入ください)

第8回大会での口頭発表を希望します。

御名前 \_\_\_\_\_

発表予定演題

-----

<<ニュースレター原稿募集!>>

ニュースレター3号の原稿を募集します。投稿に際してはニュースレター1号をご覧ください。

発行 現代英米文化学会編集委員会  
佐藤治夫、石原 強、相良英明、中村 豪、大桃道幸、石川郁二、宮本正和

(投稿時の宛先)

通常郵便  
 郵便番号101  
 千代田区神田駿河台1-8-13  
 日本大学歯学部 佐藤英語研究室内  
 現代英米文化学会編集委員会 宛  
 電子メール  
 [DOMESTIC]  
 Nifty-Serve NAA00751 / PC-VAN XKF89898  
 [FOREIGN]  
 CompuServe 76662,112 / GENIE H.SATO